

日本学術会議
経営学委員会・健康・生活科学委員会・総合工学委員会合同
価値共創社会に資するサービス研究体系検討のための分科会
サービス価値共創尺度小委員会 第1回 議事録

日時：2025年8月14日(木) 16:00～18:00

場所：Zoom 遠隔会議

参加者：戸谷圭子、持丸正明、原良憲、上條正義、西村訓弘、張婧（敬称略）

主な議論内容

1. 役員の選出

- ① 小委員会委員長として、戸谷圭子氏が選出された。
- ② 小委員会幹事として、持丸正明氏が選出された。

2. 見解の章立ての議論

- ① ドキュメントのページ数
 - ドキュメントは20ページ以内に収める予定で、要約は2ページにまとめる。
 - 引用やアペンディックスは別扱いとする。
- ② 尺度に関する提言
 - 提言の内容は尺度に関するもので、理論背景や社会への影響についても触れる。
 - 各章の執筆者が自分の担当部分を簡潔にまとめることが求められる。
- ③ 学術会議の法案成立と提出期限
 - 学術会議の法案が成立し、提言の提出期限が半年繰り上がり、3月に提出することになった。
 - 査読を3ヶ月とすると、12月に提出する必要がある。

3. 記載概要のディスカッション

- ① 価値共創の定義と測定方法
 - 価値共創の定義や測定方法について議論が行われた。

- 感情価値の測定方法として、生理反応や行動指標を用いる提案がなされた。
- 知識価値の測定方法については、持丸氏が担当する。

② サービスエコシステムとステークホルダー

- サービスエコシステム内の価値共創者の役割や測定方法について議論が行われた。
- ステークホルダーの役割を整理し、共創の場を対象にした評価尺度を提言することが求められた。
- 2017年に提言した「サービス化社会」の定義を、さらに進化させることとなった。

4. 今後の会議スケジュール

- ① 各自執筆を進め、次回の小委員会で議論をする。
- ② 次回の小委員会は9月14日。三重県にて合宿形式（一部、ハイブリッド）。

見解のページ割り振り案

1P【はじめに】 戸谷

2P【第1章】 社会のサービス化と価値共創とその現状

- (1) 張：サービス化社会とは
- (2) 張：価値共創とは
- (3) 持丸：現在のサービス化の進展状況

2P【第2章】 西村：2050年のサービス化社会の予測

- (1) 2050年のサービス化社会における市場と生活世界の位置付け
- (2) 価値共創活動に資する社会予測

3P【第3章】 戸谷：サービス化社会に必要な（共創）価値評価の方法、また現在の課題

- (1) 現在の価値測定方法とその課題
 - (ア) 企業の財務指標
 - (イ) サステナブル指標
 - (ウ) 幸福度・ウェルビーイング指標
- (2) サービス化社会に必要な共創価値評価の考え方

4P【第4章】持丸・上條・戸谷：共創価値測定方法（手法・尺度）の提案

- (1) 共創価値測定方法の提案
- (2) 共創価値尺度の提案

3P【第5章】西村：社会における価値共創の事例と予兆

- (1) 価値共創の事例と予兆
- (2) 共創価値の再定義

2P【第5章】持丸：社会にもたらす具体的な影響

- (1) 市場および企業への影響
- (2) 生活への影響
- (3) 社会全体への影響

1P【第6章】戸谷：まとめと見解